

## 京都教区の地区制と共同宣教司牧ブロックの再編成について その2

司教 大塚喜直

京都教区の地区制とブロックの再編について、2015年の体制をお知らせします。

昨年(2014)の12月7日の教区宣教司牧評議会においての「京都教区の地区制と共同宣教司牧ブロックの再編成について」の文書で、京都教区の「地区制」の見直しと、ブロックの再編についての方針をお知らせしました。

## 1. 「奈良地区」と「滋賀地区」

その中で、「奈良地区」と「滋賀地区」におけるブロック統合については、2014年1月から(会計年度の開始から)、それぞれの2ブロックを1ブロックに統合することになっていました。なお、「地区」と「地区長」のタイトルはそのままとし、「奈良地区・奈良ブロック」、「滋賀地区・滋賀ブロック」とする、とありました。

地区の「地区協議会」と「ブロック」との整合性と、それぞれの会計単位の処置について、検討することになっていました。

奈良地区では、2014年1月から、奈良地区協議会でなく、「奈良ブロック協議会」と改称し、会計は「奈良ブロック会計」のみとなっています(司牧者の車の費用・交通費等はブロック会計から支出することになっているため)。

## 2. 京都北部地区

## 1) 「舞鶴ブロック」

福知山・綾部・報恩寺の3教会は、JR福知山駅前に、聖堂と聖テレジア幼稚園の新築工事が来年1月までに完成し、5月に新聖堂の献堂を予定しています。

そこで、献堂式をもって、統合した「聖家族 カトリック福知山教会」が発足します。

## 2) 「宮津ブロック」

6つの小教区が、1つの小教区になることを目指して、2012年4月から3年間(2015年3月まで)、「宮津・与謝共同体」と「京丹後共同体」で、主日のミサを行う形態での移行期間中ですが、もう1年準備期間を延長することにします。

## 3. 京都南部地区

適正配置対象地区ですが、まだ数年かけて検討する。

したがって、2015年のブロック数は、以下の通り。

	(現 行)
京都北部地区	: 2 ブロック のまま
京都南部地区	: 4 ブロック のまま
奈良地区	: 1 ブロック
滋賀地区	: 1 ブロック
<u>三重地区</u>	: 2 ブロック
(計)	: 10 ブロック

以上